

量産飼育におけるビタミンB1強化によるサワラ稚魚の大量死亡の防止

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2025-04-24 キーワード: 作成者: 山崎, 英樹, 藤本, 宏 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014551

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



量産飼育におけるビタミン B₁ 強化によるサワラ稚魚の
大量死亡の防止

山崎英樹・藤本 宏

1999～2002年のサワラの種苗の量産試験において、餌料の比較試験を行い大量死亡の防除対策を試みた。その結果、カタクチイワシのシラス幼生給餌によるビタミン B₁ 欠乏症と思われる大量死亡が起こり、サワラ種苗生産にビタミン B₁ 給餌の必要性が明らかになった。餌料系列の見直しの結果、仔魚、育成仔魚およびイカナゴのシラス幼生を用いた餌料系列により、2002年には平均全長 37.9 mm の種苗 18.4 万尾を取り揚げ、量産化が可能となった。

栽培技研, 31(1), 19-24, 2003